

会計別予算額の内訳 [予算額・前年度比]

区 分		予 算 額	前年度比
一 般 会 計		177 億 7,700 万円	6.3%
特 別 会 計 合 計		94 億 6,160 万円	0.5%
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		52 億 6,430 万円	2.1 %
介護保険特別会計	保 険 事 業 勘 定	29 億 3,780 万円	2.7 %
	介護サービス事業勘定	960 万円	6.7%
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		3 億 1,690 万円	5.3%
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計		1 億 5,400 万円	11.7%
特 環 公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		4 億 400 万円	▲36.4%
流 域 関 連 公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		3 億 1,000 万円	▲2.3%
戸 別 浄 化 槽 整 備 事 業 特 別 会 計		6,500 万円	－
公 営 企 業 会 計 合 計		11 億 9,370 万円	0.9%
水 道 事 業 会 計		11 億 9,370 万円	0.9%

平成 24 年度 行 方 市 当初予算



行方市長 伊藤 孝一

予算合計 284億3,230万円

平成24年度行方市当初予算が行方市議会平成24年第1回定例会で可決されました。平成22年度決算における本市の健全化判断比率等の状況をみると、まず、財政運営上の弾力性を表す経常収支比率については、85・8%と22年度88・5%、21年度の92・6%及び平成17年度の合併当時の98・8%に比べ、着実に改善傾向にあるものの、依然高い数値を示し、硬直した財政状況にあることから、引き続き、全庁をあげて不断の行財政改革に取り組んでいく必要があります。

しかしながら、こうした国内外や本市を取り巻く厳しい財政状況下の中、東日本大震災やこれに伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所事故で明らかにした課題へ対応するため、減災、再生エネルギー対策はもとより、学校施設等の環境保全、食の安全に係る市民ニーズへの対応、農・水産物の風評被害対策などに高齢者・子育て支援施策の充実を併せた市民生活の安全・安心基盤をより一層強化することが求められているため、これらを重点的に、かつ、着実に推し進めていく必要があります。

特に東日本大震災で失った行方市の元氣を取り戻すため、本年度を「復興元年」と位置付け、復興関連予算を最優先とするものであります。が、現時点で国の東日本大震災復興交付金（基幹事業及び効果促進事業）や震災復興特別交付税、東日本大震災に係る「取り崩し型復興基金」（市町村復興まちづくり支援事業費交付金）等の財政措置について、いまだ不透明・不確定な部分があることから、各部署における国・県等への積極的な情報収集・財源獲得を念頭に置きながら、本年度予算編成を行ったものです。

今月26日に開通する新鹿行大橋

後期総合計画がスタートします！

一般会計は対前年度比6・2%増、戸別浄化槽整備事業特別会計を新たに設置、市民生活重視の予算編成

平成24年度の行方市の会計は、一般会計、7つの特別会計と公営企業会計に分けられています。予算額を前年度のそれと比べてみると、一般会計においては10億4,700万円(6・3%)と積極型の予算編成となりました。特別会計については、4,390万円(0・5%)、公営企業会計については、1,050万円(0・9%)と各々微増ではありますが、増額の予算編成となりました。なお、戸別浄化槽整備事業特別会計予算について、平成24年4月1日付をもって新たに設置しました。

一般会計における、歳入については、現下の経済情勢を反映し、法人市民税、個人市民税の減少が見込まれ、地方交付税や臨時財政対策債に依存する割合が高い状況に変わりはなくとも思われます。国や県からの補助金等についても相対的に減少傾向にあることから、尚一層の財源確保を図っていかねばなりません。

また、歳出については、少子高齢化対策等の扶助費、広域事業への負担金や固定経費の増加により、政策的・投資的経費へ充当できる一般財源が、限られたものにならざるを得ない状況にあります。平成24年度の予算編成にあたっては、復興関係予算を除き、行政改革大綱と集中改革プランの双方を基軸に、市総合計画に基づく実施計画や主要事業となり、真に実効性の高い事業として位置付けした「重点事業」に優先的に予算配分を行い、「事業のスクラップ&ビ

ルド」、「事業の選択と集中」の考え方のもと「市民生活重視」の予算編成を目指しました。

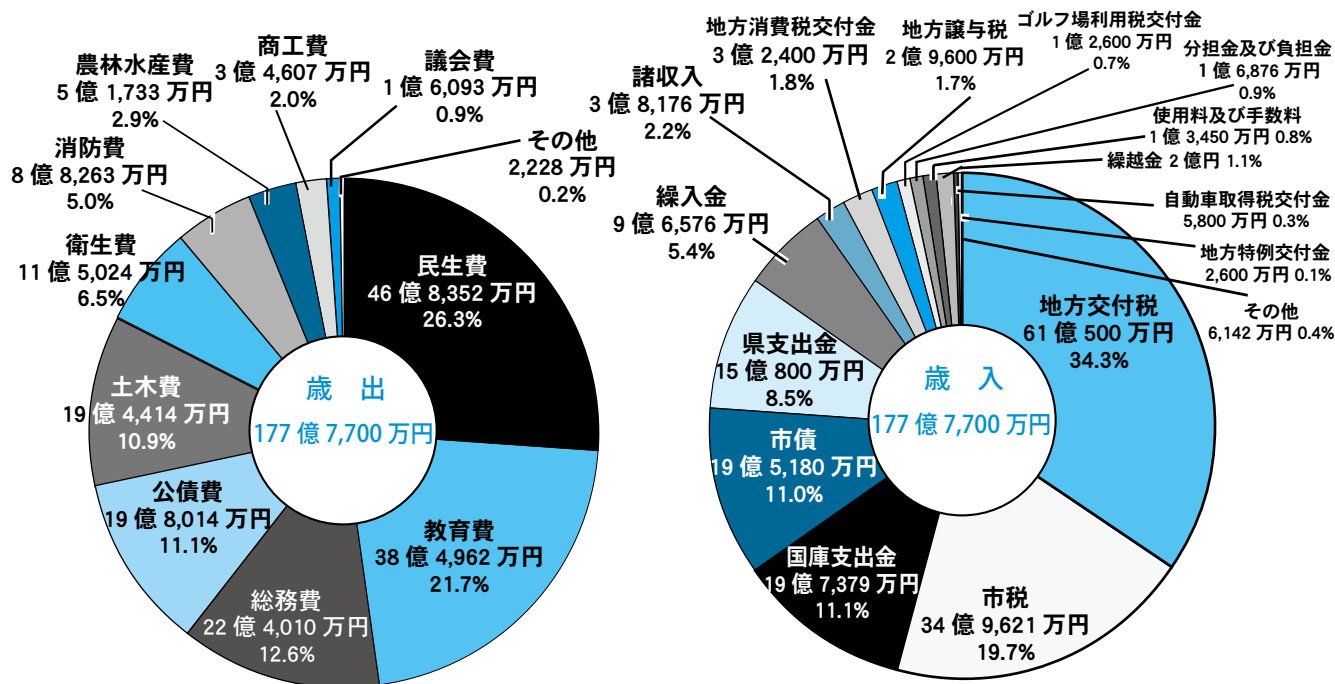
なお、実質公債費比率の低下や財政集中改革プランの目標を考慮し、事業の選択と集中の考えに沿った上で、また、財政規律の観点から当該年度の元金償還見込額を新規起債額が上回らないよう投資的事業を厳選してきましたが、学校等適正配置実施計画に基づく、学校等の建設関連事業がピークを迎えていることから、平成23年度に引き続き、やむを得ず、元金償還見込額(16億6,976万円)を超えて新たな市債を起すものとなりました。

その結果、通学路等の道路、学校等再編に伴う学校施設整備事業などの合併特例債12億3,660万円をはじめとし、その他の道路整備事業債などを合わせ、前年度比7・0%増の計19億5,180万円を計上しました。

一方、基金繰入金については、これまで、基金の積極的な造成と積み増しを図るとともに、一方では、可能な限り、取り崩しを抑制してまいりましたが、市債と同様の理由から、財政調整基金、公共施設整備基金からの繰り入れを増額しました。

地方債起債、基金繰入金については、予算執行の段階においても、引き続き、抑制に向けて努力をしてまいります。

一般会計予算額 177億7,700万円





2 歳児歯科健診



毎年、多くの市民が参加するウォーキング大会

やさしさあふれる健康福祉のまち

- ▶ 人口減少問題を重要課題として捉え、不妊治療に対する補助を新たに実施
- ▶ 医療福祉制度における県補助対象外の小学 4 ～ 6 年生までに対する市単独による拡充費用
- ▶ 育児と仕事・介護の両立支援としての放課後児童クラブ・降園後保育等
- ▶ 輪番制による休日・夜間診療等の救急医療体制（なめがた地域総合病院、鉾田病院、小美玉市医療センター、高須病院）の維持
- ▶ 高齢者に対するインフルエンザ予防接種に対する一部補助、子宮頸がんワクチン（市内在住女子中学 1 年生のうち希望者対象）、1 才未満児を対象とした小児用肺炎球菌及びヒブ各ワクチンの全額公費負担
- ▶ 子供から高齢者までの健康づくりを進めるため、健康増進計画や食育教育計画の策定
- ▶ 昨今の景気の先行き不透明感や大震災の影響を考慮した国民健康保険税の抑止措置延長
- ▶ 障がい者（児）福祉の充実を図るため、ニーズの高い福祉サービス予算の増額

豊かなところと、地域文化を育むまち

- ▶ （新）麻生小学校・（新）麻生中学校両統合校誕生に伴うスクールバスの運行や青色灯指導車の導入
- ▶ 大震災により使用不能となった小貫・三和小学校の閉校に伴って、両校児童の旧地区から（新）武田小学校までの児童送迎
- ▶ 麻生東小学校（校舎改造等工事・児童用机椅子購入）や玉造地区統合小学校（校舎新築工事・用地代）、北浦地区統合小学校（建設検討委員会費用）の整備推進
- ▶ 平成 25 年度の麻生地区幼稚園の一元化に向けた（新）麻生幼稚園園舎改築工事等
- ▶ 武道が義務教育に取り入れられるなど教育を取り巻く環境の変化に対応するため、玉造中学校武道場を改修
- ▶ 統合小学校に外国語指導助手を配置
- ▶ 図書の拡充を図るとともに、「朝読」や「家読」等、小学校等や家庭との相互協力による活字離れを抑制する方策の検討



麻生幼稚園



玉造中生徒を対象とした本の朗読



なめがた大使委嘱状交付式



4月28日(土)に文化会館で開催するNHK「俳句王国がゆく」の司会を務める博多華丸・大吉

地域資源が輝く、活力に富んだまち

- ▶ 市の農産物のブランド化や消費者との交流等に取り組み、市の知名度の向上により、基幹産業である農業の発展と地域の活性化を図り、農業所得の向上につながる施策の推進
- ▶ 6次産業の推進
- ▶ 「なめがた大使」による各種イベント等を通じてのPR活動の拡充
- ▶ 「復興まちづくり」のメッセージを内外に発信するため、市制施行7周年式典や関連イベント（NHK公開番組など）を開催
- ▶ 天王崎周辺に、市民と観光者の交流の場となる観光交流センターを建設
- ▶ 国の補助金等を活用した、非正規労働者・中高年齢者等の一時的雇用・就業機会の創出
- ▶ 「豊かなこころと地域文化を育むまちづくり事業」、「市民交流促進総合ポータルサイト事業」等各種まちづくり計画策定事業

人と自然が共生する、ゆとりと潤いに満ちたまち

- ▶ 八木時・宿地区には各々水槽付消防ポンプ自動車を、富田地区には消防ポンプ自動車を更新
- ▶ 備蓄用飲料水や防災減災対策用備品等の購入とそれらを保管する倉庫の購入
- ▶ LED機器の普及促進の継続性を担保するため、原材料としてLED型防犯灯を行政区に支給
- ▶ 放射能測定システム機器保守委託料、放射性物質検体詳細検査委託料、東日本大震災に伴う瓦礫処分委託料を計上
- ▶ 霞ヶ浦に流入する小河川の水流量を活用した小水力発電をはじめとする、地中熱発電、バイオマス等の自然エネルギーにおける持続可能なエネルギーの調査研究



4月以降も受け入れが延長となった災害ごみ仮置き場（玉造浄化センター隣り）

申請手続、搬入日などの詳細は、行方市環境課へお問い合わせください。

TEL 0291-35-2111



東日本大震災では、行方市でも多くの橋が被害を受けました。

快適に暮らせる、住み良いまち

- ▶ 東日本大震災で鹿行大橋が崩落したこと等を鑑み、市内各所の橋梁長寿化修繕計画を策定
- ▶ 各地区からの道路維持要望や復興の観点から維持補修工事に係る予算を昨年度の倍額計上
- ▶ 学校再編に伴う学校整備に係る道路については、優先整備が必要なことから、通常の道路改良舗装とは別枠に通学路整備事業として関係予算を計上
- ▶ 北浦の水質浄化に資するため、下水道未整備地区の北浦地区に、戸別浄化槽の整備を推進する当該特別会計を設置